

項目	主な意見	対応案
全般		
基本構想 P. 26 基本計画 P. 3	<ul style="list-style-type: none"> 将来像のイラストについて、地球規模の輪を連想するものであるが、これまでの議論を踏まえると、地球規模より泉州エリア、もしくは泉州エリアから少し広がるようなエリアで色々な人が活躍するというイメージに近い。イラスト上の矢印についても、外向きと内向きいずれも必要であり、循環が重要だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、修正予定です。
基本計画		
P. 27 基本目標 2 個別目標 3 方向性③	<ul style="list-style-type: none"> 活動指標「スポーツイベントの参加者数」について、イベントに参加する人と運営側に携わる人とが、一緒に計上されることに違和感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツについては、運営者側もイベントに参加することが多いこともあり、参加する人や運営に携わる人など区別なく、広く市民に関心を持っていただけるよう、スポーツに関わる人たちを増やすことを目標としています。
P. 29 基本目標 3 個別目標 1 方向性②	<ul style="list-style-type: none"> 活動指標「児童家庭相談数」の増加は、相談窓口の充実によって子育てへの不安を顕在化させるという視点で設定されているが、見かけ上、課題を抱える家庭が増えたと誤認されやすいため、記述の方法を工夫していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、相談件数を指標として設定する場合、その意図が誤認されやすいところであると認識しています。改めて再考し、文章を追加することといたしました。
P. 38 基本目標 3 個別目標 2 方向性①	<ul style="list-style-type: none"> 活動指標「健康チェック実施者数」について、65 歳以上と 65 歳未満等の年齢層に分けて計上できないか。健康づくりにおいては自助努力の啓発が重要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本方向性は全年齢に向けたものであるため指標を区分して設定する予定はありませんが、年齢層ごとの実施者数等を把握・分析しながら、今後の施策に努めてまいります。

審議会の主な意見と対応方針

資料 1

項目	主な意見	対応案
<p>P. 40 基本目標 3 個別目標 5 方向性⑤</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動指標「救急搬送件数」について、救急車の適正利用という課題があることから、救急搬送件数が増加したからと言って安全安心な体制が整ったとは言えない。救急相談応受付数等にしてはどうか。 市民から見た時の公立病院としての役割とは何か(平時における救急医療体制、災害医療、周産期等) 具体的に記述できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療体制の充実という点においては、成果指標として市民アンケートを設定しているところです。活動指標「救急搬送件数」は分かりやすさという点を重視して設定する「代表的な指標」であり、数ある活動の一つであるにご理解いただければと存じます。なお、ご指摘の趣旨を踏まえ、表現は一部修正いたしました。 個別計画である泉大津市病院事業経営強化プランによって示しており、総合計画の性質上、詳細な記載は個別計画に委ねているところです。
<p>P. 65 基本目標 7 個別目標 1 方向性④</p>	<ul style="list-style-type: none"> 財政健全化指標「将来負担比率」が増加している点について、「負債が増えることは悪いことであり、今後危機的状況になっていく見込み」であるという誤認が生まれる懸念があるため、表現方法に何らかの工夫をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を受け、表現を修正することといたします。